

新しい形状の歩行杖

“Issoku-CHO”の誕生について

(1足長)

昨年(2021年)の10月、私は妻と由布山に登りました。途中で妻が何度も杖を持つことを勧めるので、私は雑木林に落ちている木の枝を1本手に取りました。私が偶然手に取ったのは、まっすぐではなく、『くの字』に曲がっていたものでした。握った感触がよかったので、それを持って登ることにしました。ところが登りながらその使いやすさに驚きました。適度な弾力が推進力を与えてくれます。腕で後方に押さなくても推進力が得られます。また、手と足のリズムがとてもよく合います。私はその木の枝を持って帰り、その形状を分析しました。

そして、使いやすさの根拠が見えてきました。また、調べる過程で、山登りやトレッキング等の健康志向の人だけでなく、歩行のために杖が必要な人にとっても、これまでにない使いやすさと補助力を発揮する形状の杖であることが分かってきました。

私はこの形状の杖を企業に作ってほしいと強く願うようになりました。この杖により、より多くの方が外に出て、健康を増進する機会を得られるようになると確信したからです。また、企業に安心して作ってもらうためには特許を取っておかなければならないことを知り、特許への挑戦をはじめました。そして、有り難いことに、新規性や進歩性、産業上の利用可能性が認められ、今年の6月に特許を取ることが出来ました。その後、製作を担当してくれる企業も見つかり、世の中に誕生させるまで、あと一歩のところまで来ています。



NPO法人七瀬の里Nクラブ
学習サポート部門
フォレストゼミナール
代表 森 達雄



特許第7108958号

人間にとって使いやすい杖にするためには、グリップから1足長下の所で、杖の先端が1足長前方になるように折り曲げる必要があるのです。

しかし、この歩行杖を世の中に出すには、この歩行杖の可能性に共感し、応援していただける方がいなくては不可能です。そのためには、この新しい形状の歩行杖について、もっとよく知ってもらう必要があります。そこで、今までの歩行杖との違いやメリットについて説明する動画をYouTubeやMakuake(マクアケ)のサイトにアップロード致します。是非ともご覧いただき、この新しい形状の歩行杖“Issoku-CHO”に関心を持っていただきますとともに、応援していただけますことを心より願っております。皆様方のご支援をよろしくお願い致します。

フォレストゼミナール
森 達雄

【YouTube のラインナップ】

『Issoku-CHO オープニング』

『Issoku-CHO とトレラン』

YouTube 『Issoku-CHO チャンネル』の
QRコードです



Issoku-CHO と
従来の歩行杖との
違いを映像でご確認
下さい。



【推薦のことば】

医療現場においては、杖の先端が1足長前方にあることによって、安心して1歩目を踏み出せる点が有り難い。T字杖よりも荷重負担免除力が高く、また、松葉杖よりも長期にわたっての使用が可能である。この杖によって、多くの人たちが外で歩く機会を持ち、健康を増進することを願っています。

藤島クリニック院長 医学博士 藤島 宣彦

